

戦後最大流量

近年、地球温暖化に伴い局地的に短時間強雨が発生することが増え、水害の危険性が高まっています。四国の河川でも 2000 年以降に戦後最大流量を記録している河川があります。香川県の土器川と徳島県的那賀川の例をご紹介します。

■平成 16 年 10 月台風 23 号洪水（土器川流域）

平成 16 年（2004）10 月 20 日午後 1 時頃に高知県土佐清水市に上陸した大型で非常に強い台風 23 号は秋雨前線を刺激し、土器川流域では午後 6 時頃に 1 時間雨量 50 ミリ以上の強い雨をもたらしました。土器川上流の川奥雨量観測所では 1 日雨量が約 280 ミリ、祓川橋流量観測所では流量が戦後最大の約 $1,040 \text{ m}^3/\text{s}$ を記録しました。このため、まんのう町の土器川では護岸崩壊 2 箇所、河岸侵食、満濃大橋橋脚周辺の洗掘等が発生し、常包橋下流付近では水があふれ、住民が自主避難しました。また、下流の丸亀市では土器川支川の氾濫により、家屋の床上浸水 75 戸、床下浸水 142 戸の被害が起こりました。＜国土交通省四国地方整備局「土器川水系河川整備計画」2012 年、香川県土木部河川砂防課編「平成 16 年度台風災害」2005 年、満濃町誌編さん委員会編「新修満濃町誌」2005 年など＞



■平成 26 年 8 月台風 11 号洪水（那賀川流域）

平成 26 年（2014）8 月 10 日午前 6 時過ぎに高知県安芸市に上陸した台風 11 号は、四国地方をゆっくり北北東に進み、那賀川流域に豪雨をもたらしました。雨は 9 日午後 3 時から降り始め、10 日午前 9 時までの雨量は古庄地点の上流域で 2 日雨量 754 ミリを記録しました。古庄水位観測所では 10 日午前 10 時 30 分に観測以来最高の 8.0m の水位を観測し、古庄地点の流量は戦後最大の約 $9,500 \text{ m}^3/\text{s}$ を記録しました。那賀川流域では、阿南市加茂地区などの国管理区間で溢水や内水により家屋の床上浸水 240 戸、床下浸水 106 戸の被害が、また那賀町和食・土佐地区など県管理区間で床上浸水 284 戸、床下浸水 135 戸の浸水被害が発生しました。＜四国地方整備局・徳島県「平成 26 年 8 月台風 11 号洪水の概要について」2014 年、阿南市史編さん委員会編「阿南市史第六巻」2022 年など＞

